

建学の精神・大学の基本理念

建学の精神

『大志をまとえ』

学校法人西大和学園は昭和 60（1985）年に「国づくりは人づくり、人づくりは教育から」の理念の下に現大和大学学長 田野瀬良太郎によって設立された。田野瀬は青年期における海外諸国歴訪の旅の経験から「国家の基礎は子供たちにあり、子供たちの根本を作るのは教育である。教育こそが国家の礎を築く。」という思いに至った。爾来、田野瀬は青少年の育成こそが自らのライフワークであるとし、昭和 60（1985）年に西大和学園高等学校、昭和 63 年（1988）年に西大和学園中学校、平成 5（1993）年に西大和学園カリフォルニア校、平成 10（1998）年に白鳳女子短期大学（現 白鳳短期大学）を次々と設立し、次代を担う若者の育成に努めてきた。しかし、田野瀬の最終的な目標は自らの学園が育てた学生が直接社会の担い手となる総合大学の設立であった。そして、その志の集大成として、平成 26（2014）年に開学したのが、大和大学（以下「本学」という。）である。そして、本学が「高等教育機関として、『人づくり』のためにどのような教育をすべきか」について検討を重ねた結果、たどり着いた結論が建学の精神「大志をまとえ」である。

現在の学生は 1990 年代から続く長期景気停滞の時代に生まれ育ち、「真面目ではあるが、失敗を恐れ、挑戦をしようとしなない」マニュアル世代と言われる。しかし、これまでにないスピードで変化と発展を遂げる現代社会において、必要とされるのは「失敗を恐れず、挑戦する」姿勢を持った人材ではないか、そのような思いから建学の精神を「大志をまとえ」とし、大きな志を以て自分の掲げる理想のために邁進する人材を育てることを目指し本学を設立した。

大学の基本理念

『新たな価値を創造し、未来を切り拓く強固な意志を持つ人材を育てる』

建学の精神「大志をまとえ」の下に、具体的にどのような教育をすべきか。それはどのような「大志」を持つか、という問いに答えるのと同義であると考えている。

すなわち、この志は決して自己本位のものであってはならず、これからの社会を支える人材として備えるべき志でなくてはならない。また、この志は日々目まぐるしく変化する時代の中であって、これから訪れるであろう幾多の困難、試練にもかかわらず、必ず貫かねばならない。

今、時代は経済が停滞し、国際社会におけるパワーバランスが転換点を迎える中、技術革新が急速に進んでいる。このような時代の転換点で「新たな価値を創造し、未来を切り拓く強固な意志を持つ人材を育てること」こそが本学が果たすべき役割であり、使命であると考え、これを教育の理念とした。